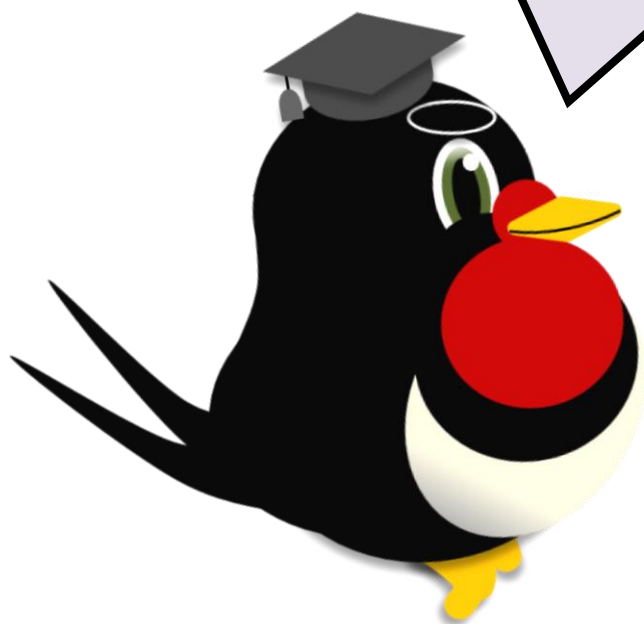


平成28年度

羽ばたけつばくろ

応援事業



燕市教育委員会

～小学生から20歳までのみなさんの『夢』を募集します～ 羽ばたけつばくろ応援事業

燕市では、若者の主体的な活動を応援する、「羽ばたけつばくろ応援事業」を始めました。

対象は、「燕市に住所を有する高校生から20歳までの個人」または「燕市に住所を有する小学生から20歳までの者が代表となる団体・グループ」とし、将来を担う人材の育成を目指します。

目標や夢を実現するための、自己啓発、学習、視察などの活動や、地域で取り組むイベント、地域活動など社会参画事業の企画を募集し、個人は10万円、団体は25万円を限度にして補助を行います。

これまで支援の範囲に入りづらかった高校生も対象にし、夢のある・柔軟な企画を募集することで、「自分の夢や目標を叶えるため」、「住んでいるまちをもっとよくしたい」という一歩踏み出すきっかけづくりを応援していきます！

●審査委員長 新潟青陵大学 岩崎 保之教授による講評



この事業を通し1年間活動や経験したことで、自分たちで地域の問題や学校生活での問題などに気づき、その問題解決に向けた解決策を友だちと考え、周りの先生や大人の知恵や力を借りながら取り組み、やりとげたことは大きな自信につながったのではないのでしょうか。

県立吉田高等学校 茶道部 . . . P5～6

(代表：県立吉田高等学校1年生 山田^{やまだ} 紗雪^{さゆき} 構成員8名)

- ▶ 活動テーマ：茶の湯 つばくろ茶会
- ・モンゴル国パラアーチェリー選手団にお茶を楽しんでもらい、異文化交流を行った
- ・第31回淡公会学生・生徒交流茶会に参加
- ・吉高祭（文化祭）でモンゴル国選手団とのお茶会の報告

県立分水高等学校 . . . P7～8

(代表：県立分水高等学校2年生 石黒^{いしぐろ} 丹理^{あかり} 構成員3名)

- ▶ 活動テーマ：国際理解・異文化交流の旅～南の隣人-台湾を知る～
- ・大学講師からの事前学習による、台湾の歴史・文化を学習
- ・台湾について自分たちでも事前学習を行い、壁新聞形式で作成し発表
- ・現地交流会では英語で分水高校、燕市、地場産業の紹介を行った
- ・相手校の生徒と一緒に折り紙やフォークダンスによる交流を行った

小池中学校生徒会 . . . P9～10

(代表：小池中学校3年生 近藤^{こんどう} 翼^{つばさ} 構成員5名)

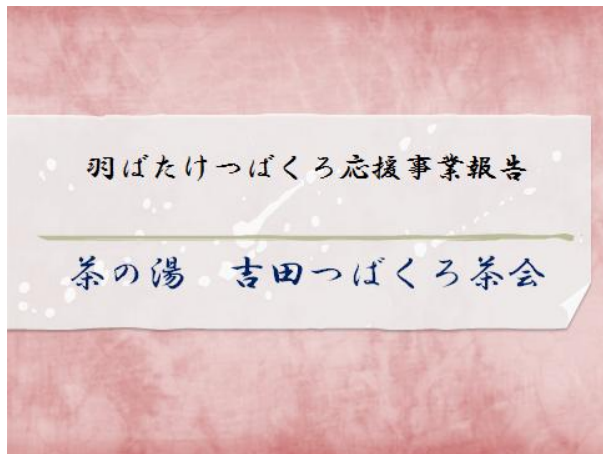
- ▶ 活動テーマ：糸半（いとはん）プロジェクト～防災バージョン～
- ・地域クリーン作戦や認知症サポーター養成講座への参加
- ・地域合同防災訓練への参加
- ・防災マップの作成
- ・お年寄り訪問のための正月飾りの制作やチューリップの球根植え

燕中学校生徒会 . . . P11～12

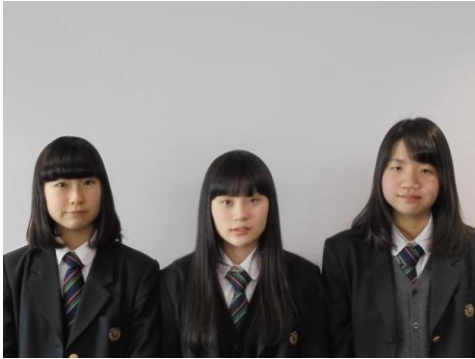
(代表：燕中学校3年生 澤^{さわ} 朱音^{あかね} 構成員11名)

- ▶ 活動テーマ：生徒の力でめざそう！「真の文武両道」
- ・「真の文武両道」の学校となるため、4者（生徒・OB・地域コーディネーター・先生）ミーティングを開催
- ・校内のらせん階段を利用した、知の空間づくり
- ・学習習慣向上への取り組み
- ・ボランティア活動や市主催事業への参加を積極的に呼びかける
- ・外部講師による講演会・学習会を開催（講師：燕市長、寺川綾、藤代圭一さん等）





茶の湯 ～つばくろ茶会～



県立吉田高等学校 茶道部
代表 山田 紗雪

活動の目標	茶道部の活動を通じ、自分たちの腕前を上達させる。さらに、茶道を通じて外国の方たちから日本文化に触れてもらうことで、国際交流を体験する。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中に講師の先生から集中的に茶道の活動にお出でいただく。 ・第31回 淡公会 学生・生徒交流茶会に参加（新潟市白山公園内 燕喜館にて開催）。 ・モンゴル国パラアーチェリー選手団にお茶を楽しんでいただく。 ・吉高祭（文化祭）のお茶会で、モンゴル国選手団とのお茶会の写真を展示して、お客様に見ていただく。
活動の成果	言葉の通じないモンゴルの選手の方に、お茶をお出しすることは普段できないとても貴重な経験でした。モンゴルの方に日本文化を知ってもらい楽しんでいただけたので、私たちも充実した時間を過ごすことができました。
これからの目標	この取組を通じて、たくさんの人との交流が大切だと思ったので、もっと多くの人に「茶道」を広められるよう、地域活動を増やしていきたいです。そのために、日々のお稽古に精進していきたいです。

～国際理解・異文化交流の旅～
南の隣人-台湾を知る
新北市立中和高級中学校との交流会



燕市羽ばたけつばくろ応援事業報告会

2017年2月19日(日) 燕市役所

What is Tsubame city Like ?
(燕市紹介)

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1 Location | (場所) |
| 2 Population | (人口) |
| 3 Area | (面積) |
| 4 Local Industry | (地場産業) |
| 5 Annual Events | (行事) |
| 6 Turning of the seasons | (季節の移り変わり) |



What is Bunsui Senior High School like ?
(学校紹介)

- 1 A short history of Bunsui Senior High School
- 2 What do you learn ?
- 3 What school events do you have ?
- 4 What do you do after school ?



アクティビティ1:折り紙



アクティビティ2:フォークダンス



国際理解・異文化交流の旅 ～南の隣人-台湾を知る～



県立分水高等学校
代表 石黒 丹理

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前研修で修学旅行先である台湾に対して理解を深める。 ・現地交流会での異文化交流を通じて国際理解を深める。 ・交流会を通じてそれぞれの考えや文化の違いを尊重した国際協調の態度を身につける。
<p>活動の内容</p>	<p><事前学習> 大学より講師の先生に来ていただき、台湾の歴史や文化について理解を深めるとともに、台湾からの留学生を招いて、現地の高校生の生活や若者文化について知る。台湾についてさらに自分たちで調べ、文化祭時に壁新聞形式を作成し発表。</p> <p><現地高校との交流会> 分水高校、燕市及び地場産業の紹介を英語で行う。記念品として、燕市で作られたスプーンを相手校の生徒に渡す。アクティビティ（折り紙、フォークダンス）を相手校の生徒と一緒にやる。</p>
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習では、新潟産業大学の教授からの講演や、台湾からの留学生との懇談のおかげで、台湾をとっても身近に感じることができました。また、文化祭で壁新聞を作ったことで、さらに台湾への理解が深まりました。 ・交流会では、アクティビティが進むにつれ、前から知っている人というように過ごすことができ、最後に全員で集合写真を撮ったあとも、もっと交流会を続けたいと思ったほどでした。交流会は大成功だったと思います。得るものが多い貴重な体験でした。
<p>これからの目標</p>	<p>相手校の生徒のように積極的に物事に取り組んだり、経験のないことをためらいなく受け入れて行く姿勢は、私たちの目標とした国際理解や異文化交流に欠かせないものだとということが分かり、この姿勢を身につけることが次の目標となりました、私たちがこれから進路を考えていくうえでこの貴重な経験を役立てていきたいです。</p>



糸半プロジェクトとは？

- お世話になった地域の方々への恩返し
「中学生にできること」を考え行動する
- 小池中の良さを自分たちの姿で表現する
「地域への発信」と「ボランティア精神の向上」
をめざす



糸半（いとはん）プロジェクト ～防災バージョン～



小池中学校 生徒会
代表 近藤 翼

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった地域の方々のために、中学生としてできることを考え、行動する。 ・小池中の良さを自分たちの姿で表現するため、地域へ発信し、ボランティア精神の向上を目指す。
<p>活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域クリーン作戦への参加 ・認知症サポーター養成講座への参加 ・地域合同防災訓練への参加 ・防災マップの作成 ・お年寄り訪問のための正月飾りの制作やチューリップの球根植え
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトへの関心が高まってきている。9月のクリーン作戦には、生徒会の呼びかけにより、部活動の大会などで参加できなかった生徒以外はほとんど参加し、70%以上の生徒が参加した。 ・12月に実施したアンケートで、「ボランティアの意味や意義について考えるようになったか。」という問いに、平成27年度は72%が考えるようになったと答えたが、平成28年度は、80%に増加した。
<p>これからの目標</p>	<p>今後も糸半プロジェクトの取り組みを充実させ、さらに地域とのつながりを深めるようにしていきたい。そのため、地域合同防災訓練に中学生として積極的に参加し、また、地域の企業（工場、保育園など）や卒業生の方々とのつながりがもてるようになると、糸半プロジェクトがさらに発展できると思います。</p>

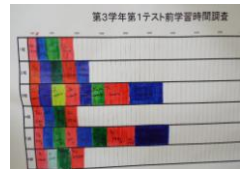
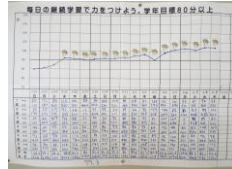
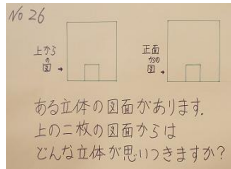
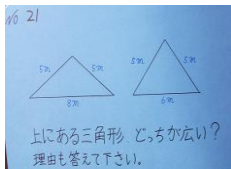


1 突然ですが問題です
3枚のカードがあります。1枚は当たりの○
2枚はハズレの×が書いてあります。
まずあなたが1枚カードを引きます。
次に私がハズレのカードを引きます。
残りのカードは1枚。アタリを引きたいあな
たはカードを**変更**しますか？**しませんか**？



第一テスト 学習時間ランキング

氏名	時間	氏名	時間	氏名	時間	氏名	時間
1	2050	100	1100	200	1200	300	1300
2	1950	105	1150	205	1250	305	1350
3	1900	110	1200	210	1300	310	1400
4	1850	115	1250	215	1350	315	1450
5	1800	120	1300	220	1400	320	1500
6	1750	125	1350	225	1450	325	1550
7	1700	130	1400	230	1500	330	1600
8	1650	135	1450	235	1550	335	1650
9	1600	140	1500	240	1600	340	1700
10	1550	145	1550	245	1650	345	1750
11	1500	150	1600	250	1700	350	1800
12	1450	155	1650	255	1750	355	1850
13	1400	160	1700	260	1800	360	1900
14	1350	165	1750	265	1850	365	1950
15	1300	170	1800	270	1900	370	2000
16	1250	175	1850	275	1950	375	2050
17	1200	180	1900	280	2000	380	2100
18	1150	185	1950	285	2050	385	2150
19	1100	190	2000	290	2100	390	2200
20	1050	195	2050	295	2150	395	2250
21	1000	200	2100	300	2200	400	2300
22	950	205	2150	305	2250	405	2350
23	900	210	2200	310	2300	410	2400
24	850	215	2250	315	2350	415	2450
25	800	220	2300	320	2400	420	2500
26	750	225	2350	325	2450	425	2550
27	700	230	2400	330	2500	430	2600
28	650	235	2450	335	2550	435	2650
29	600	240	2500	340	2600	440	2700
30	550	245	2550	345	2650	445	2750
31	500	250	2600	350	2700	450	2800
32	450	255	2650	355	2750	455	2850
33	400	260	2700	360	2800	460	2900
34	350	265	2750	365	2850	465	2950
35	300	270	2800	370	2900	470	3000
36	250	275	2850	375	2950	475	3050
37	200	280	2900	380	3000	480	3100
38	150	285	2950	385	3050	485	3150
39	100	290	3000	390	3100	490	3200
40	50	295	3050	395	3150	495	3250



働く意義理解深め
熊本の先達と新職人の
対話

熊本の先達と新職人の対話
熊本の先達と新職人の対話
熊本の先達と新職人の対話



生徒の力でめざそう！「真の文武両道」



燕中学校 生徒会
代表 澤 朱音

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会が中心となり、地域の方々や保護者、OBの力を借りて「真の文武両道」の学校を創る。 ・身近な先輩や第一線で活躍している方のお話や活動を通して、見方や考え方を広げる。
<p>活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4者（生徒・OB・地域コーディネーター・先生）ミーティング ・知の空間づくり ・学習習慣向上への取り組み ・ボランティア活動や市主催事業への積極的参加呼びかけ ・外部講師による講演会・学習会（講師：燕市長、寺川綾、藤代圭一、燕三条青年会議所など）
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校にボランティアとして地域の方々やOBが多く訪れるようになった。 ・講師として有名な方や卒業生、地元企業の方々などをお呼びすることができた。 ・上記2点から「真の文武両道」を実現するためには、今までの先生と生徒だけで作る燕中学校に加え、地域の方々やOBと共に燕中学校を作っていくことが必要だと感じた。また、今回の取り組みにより、生徒自身に自分を見つめる力がついた。
<p>これからの目標</p>	<p>この取組を継続することに加えて、燕中生が地域に働きかける活動を実施し、「さらに地域貢献する燕中生」「燕市の将来を担う燕中生」を目指していきたい。</p>